

令和6年5月吉日

各 位

四條畷学園短期大学 教学委員会
副学長・教学委員長 工藤真由美

「教員相互による公開授業参観」の実施について

平素より本学の教育・学生指導にご尽力賜り、心より厚く御礼申し上げます。

「教員相互による公開授業参観」を、下記の通り実施いたします。

この取り組みは、教員相互に授業を公開、参観することにより、自身の授業改善、学生の学修成果向上に役立てることを目的とします。授業担当の先生方におかれましては、下記期間中の「すべての授業の公開」をお願いする次第です。

参観者がいることで授業の進行および学生の学修に重大な支障が生じる懸念のある場合を除き、参観をご許可下さいますようお願い申し上げます。また、参観される場合は可能であれば事前に授業担当者に一言、お声がけいただけますと幸いです。

以上、何卒ご理解いただき円滑な実施にご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

記

実施期間：令和6年6月10日（月）～ 6月14日（金）

公開授業：上記期間中に実施されるすべての授業

参観回数：専任教員…1回以上、非常勤の先生方…任意

※参観後、『公開授業参観報告書』のご提出をお願いいたします。

なお、本報告書は本学ウェブサイトにて公開を予定しております。

【ご提出方法】

①ユニパにログイン

②「共通」→「アンケート」→「アンケート回答」→「公開授業参観報告書」

設問：授業を参観してのご感想、ご意見等を記述してください。（300字以内）

締切：令和6年6月29日（土）

以上

*お問合せは、担当教学委員（工藤・安谷・千田）までお願いいたします。

公開授業報告書 保育学科

	参観記録記入者名	参観実施日	参観授業科目名	授業担当者名	授業を参観してのご感想、ご意見等
保 育 学 科	工藤 真由美	6月11日(火) 3時間目	日本語表現法(スタディスキル 含む)	竹永 知弘	前半30分は教科書とパワーポイントで学習内容の確認、ポイントチェックを行う。後半1時間は文章を読み作文する。授業が始まるとしっかりとけじめがつき、居眠りをしている学生は起こすなどして適切に対応しておられた。授業展開もメリハリがあり、作文の時はみな集中していた。わからない学生が質問しやすいように机間巡視しておられた点も好印象であった。作文のチェックポイントもパワーポイントで明示し、作文が苦手な学生にとってじっくり取り組むことで実力養成できる授業であると感じた。パワーポイントの提示時間が短い点はやや残念に感じた。教科書の予習をしていれば問題ないかもしれない。
	合田 誠	6月12日(水) 3時限	保育・教育課程論	辻本 有里恵	授業のテーマは「5歳児の日案を立てる」で、最初に先週実施した5歳児の動画視聴を通じて、領域やねらいに関するプリントの穴埋めを一人ひとりに答えさせていた。学生の返答は概ね正答で、的確な鑑賞の仕方をしていたと想像できた。ただし、その答えを口頭でやり取りしていたため、より確実に記入させるならば、スクリーンにプリントを写しながらのやり取りがベターであると感じた。続いて、個々人が日案を立てる作業に取り組み内容までは確認していないが、積極的な質問が多々あり、個別に丁寧に対応している姿には好感がもてた。
	鍛冶谷 静	6月11日(火) 1時限	特別支援教育総論(障害児保 育含む)Ⅰ	金川 朋子	自分の担当科目「子どもの理解と援助」でも扱う吃音について教授内容に齟齬がなく安心したが、2年次科目として1年次からさらに何を学ぶか(発展させるか)を考えたいと思った。(例えば二次的な問題の予防についてや、インクルーシブの視点から捉えるなど)動画を多く活用して、子どもへの接し方などイメージしやすく、学生の理解を助けていた。学生はプリントや小テストで重要事項を確認できるように工夫されており、教員も学生の理解度を毎回チェックできるので良い取り組みだと思った。
	香月 欣浩	6月15日(土) 2限目	子ども文化Ⅱ	川松朋子	授業開始時に教員が学生一人一人に行うインタビューでは、「昨日まであったいいことは？」を聞き、対話を続け、学生の生の声を引き出すとともに、自分に興味を持ってくれたという承認欲求を満たす意味があると感じた。腹話術は表現であるから、安心感のある教室でないと表現はしづらい。安堵感を醸し出す授業づくりをされていると感じた。また学生の演じた後に、表現を受容し、そのままとせず、さらにもう一つ上の課題を伝え、超えられるようなアドバイスを行っていた。これこそ学生は伸びるのだと気付かせて頂きました。大変勉強になりました。
	金川 朋子	6月14日(金) 3時限	幼児と音楽Ⅰ	千田 耕太郎	定評のある音楽指導の授業を初めて参観させていただきました。本学園が誇る音楽指導、長年蓄積されてきた指導方法が存分に活かされた授業だと思いました。学生を4グループに編成、指導内容を3分野(ピアノ指導、声楽指導、音楽理論)として、学生が効率よく学べるように工夫されていました。また、ピアノ指導では、個人レッスンの時間を確保して、一人ひとりに技量に応じた指導がなされていました。このような指導体制により学生の満足度も高くなるのだと思いました。また、どの指導場面においても、子どもへの指導を想定したアドバイスがなされており、保育実践力の養成に繋がる良い教授内容だと勉強になりました。
	阪野 学	6月10日お及 び14日(金)	保育実習指導Ⅰ・教育実習Ⅱ	松下 明日香	今年度は実習委員会の係りとして保育学科の保育所、施設、幼稚園の実習の授業を参観した。何れの科目も先生方がこれまでの授業の積み重ねの中で試行錯誤されてより良い内容を確立されていると感じさせられた。1年生の保育実習指導では実習に向けての実践的な授業内容であり手遊びや絵本の読み聞かせのロールプレイであった。相手のロールを観察し自分と比較していた。また、施設実習指導では実習がまだ先の事でもあり様々な施設種別の役割や機能についてのレクチャーであった。方や2年の幼稚園実習指導については、模擬保育をグループに分けて行い学生同士で評価し合いフィードバックすると云った取り組みを行っていた。
	千田 耕太郎	6月14日(金)1 時限	幼児と図工Ⅰ	香月 欣浩	振り返りを丁寧にすることで授業者の意図がよく伝わり、自分の良かった点改善すべき点なども明確になっていて参考になった。学生の心の安全が保障されていて、その点もとても参考になった。キャッチコピーが思い浮かばず悩んでいる学生がいたが、良いコピーの例がいくつかあると、もっとわかりやすいのでは？と感じた。
	森 麻希子	6月13日(金) 5時限	幼児と健康	松下 明日香	子どもの育ちと安全について、「チャイルドビジョン」を利用し幼児と同じ目線を体験することで、子どもの見え方の特性や、安全確保に必要な援助がより具体的に実感できるよう工夫が凝らされていた。グループワークを適宜行うことで授業にメリハリがあり、講義内容が自然に理解できる構成で、大変勉強になった。
	阪江 豪	6月10日(月) 2限時	保育実習指導Ⅰ	松下 明日香	実習に向けて、学生が手遊びや絵本をペアで実施する内容であり、人に対して行う、そのための準備や考えを実践的に学ぶことができる内容であった。
	松下 明日香	6月10日(月) 3限目	保育実習指導Ⅰ(施設)	合田 誠	実習担当者間の連携を深めるために、実習指導を参観させていただきました。施設の基本的知識や入所する子どもの背景を丁寧に説明されており、保育所実習においても子どもと関わる上で前提となる情報を十分に伝えられているかどうか、自身の授業を振り返る機会になりました。

公開授業報告書 ライフデザイン総合学科

	参観記録記入者名	参観実施日	参観授業科目名	授業担当者名	授業を参観してのご感想、ご意見等
ライフデザイン総合学科	中川 玲子	6月14日 (金)4時限	臨床心理学	中川 明仁	授業進行と解説のスピードは丁度良く、大変わかりやすく解説されていた。授業時間内に予定されていた内容は全て完結していた。「メンタルヘルス・マネジメント検定試験Ⅲ種」受験の対策講座であり、要点の解説後に力試し問題を解かせ、学生に解答させていた。正答率が高く、また回答の根拠も正確に答えられており、要点はよく理解されていると感じた。授業資料は、使用するパワーポイントの全てのスライドが掲載されており、ところどころ空欄を設けて重要点を記入させる形式で、要点の理解と記憶を促していた。書き込むスペースが若干狭いように思ったが、学生の理解度が高かったので、ノートの形式は学生にとって適切なのだと理解した。
	伊東 めぐみ	6月12日 (水)4・5限	アロマセラピー(演習含む)□	倉津 三夜子	今日の講義はアロマトリートメントについての内容でした。アロマトリートメントは血液の循環の密接な関係があるということで、体の血液の流れ(体循環・肺循環)について、リンパ節が静脈に沿うようにあり、静脈で吸収できない老廃物や代謝物を回収していることをわかりやすく説明されていて、医療事務の学習をする学生にとても有用だと感じました。なぜリンパで回収しなければいけないのか(大きさによって静脈に入れないものはリンパで回収)など、自身も理解しきれていなかった知識なども語られており、非常に高度な内容を学生にも分かりやすく伝えておられました。自身の講義にも活用させていただきたいと思います。
	安谷 元伸	6月12日(水) 3限	医療事務Ⅰ	伊東 めぐみ	薬価表等の複数枚の資料を基に、初診料と再診料の違いやレセプトの意味の理解及び計算を行う内容。午後に設定された複雑な計算が必要となる演習の授業であるものの、寝てしまうような学生はほとんどおらず、皆の学習意欲が高い様子が伺えた。カルテへの記述や投薬料、薬価表を用いた計算については詳細な指導が必要となるため、丁寧な板書や机間支援の時間を多く設定する等、自分の担当する授業においても見習うべき点が多々あった。ぜひ、演習授業において取り入れていきたい。
	河合 真知	6月14日(金) 3時限	医療事務総論	久保 覚司	『医療事務総論』は講義区分となる授業であるが、常に履修者に問いかける形で進められており、興味と集中を切らすことなく学生は受講できていた。「考える」というアクティブラーニングが、講義形式の中でも実践されていた。また、白板とスクリーンを上手く使い分け、投影されたPPTの空欄箇所への記入は、白板になされ、学生が「考えた」ことを「アウトプット」することが、緊張することなく自然に行えていた。事例提示については、学生が実際に体験したことがあるか等を問いながら、身近に感じられる内容から入られており、より興味をもって受講できていた。白板の使い方や問いかけの仕方を取り入れさせてもらいたい。
	久保 覚司	6月12日(水) 3時限	医療事務1	伊東 めぐみ	とてもわかりやすい講義だった。板書が非常に丁寧で、細かい箇所まで触れられていた。また机間巡回する時間もしっかり確保されており、学生1人1人に声掛けができていた。特に板書については見習うべきポイントが多く、授業参観がとても参考になった。
	中川 明仁	6月11日(月) 4時限	食生活アドバイザー	中川 玲子	自分自身も資格取得を目指すための授業(対策講座)を担当しているため、他の先生方がどのように授業を運営されているのか知りたく本授業を参観した。昨年の模擬問題を解かせた上で学生自身で間違い直しをさせ、その後担当教員より、各設問ごとに教科書のどこを振り返ればよいのかの説明がなされた。学生にとっては本番さながらの緊張感や問題の難易度を体感できる機会ともなり、また、単に正解を伝えて終わるのではなく、復習すべき点を明確に指示していたのは、自分自身の授業を運営していく上で大変に参考となった。教員の一方通行の授業ではなく、受講生の目線に立った授業が運営されていると感じられた。

令和6年10月吉日

各 位

四條畷学園短期大学 教学委員会
副学長・教学委員長 工藤真由美

「教員相互による公開授業参観」の実施について

平素より本学の教育・学生指導にご尽力賜り、心より厚く御礼申し上げます。

「教員相互による公開授業参観」を、下記の通り実施いたします。

この取り組みは、教員相互に授業を公開、参観することにより、自身の授業改善、学生の学修成果向上に役立てることを目的とします。授業担当の先生方におかれましては、下記期間中の「すべての授業の公開」をお願いする次第です。

参観者がいることで授業の進行および学生の学修に重大な支障が生じる懸念のある場合を除き、参観をご許可下さいますようお願い申し上げます。また、参観される場合は可能であれば事前に授業担当者に一言、お声がけいただけますと幸いです。

以上、何卒ご理解いただき円滑な実施にご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

記

実施期間：令和6年11月11日（月）～ 11月15日（金）

公開授業：上記期間中に実施されるすべての授業

参観回数：専任教員…1回以上、非常勤の先生方…任意

※参観後、『公開授業参観報告書』のご提出をお願いいたします。

なお、本報告書は本学ウェブサイトにて公開を予定しております。

【ご提出方法】

①ユニパにログイン

②「共通」→「アンケート」→「アンケート回答」→「公開授業参観報告書」

設問：授業を参観してのご感想、ご意見等を記述してください。（300字以内）

締切：令和6年11月30日（土）

以上

*お問合せは、担当教学委員（工藤・安谷・千田）までお願いいたします。

公開授業報告書 保育学科

	参観記録記入者名	参観実施日	参観授業科目名	授業担当者名	授業を参観してのご感想、ご意見等
保育学科	工藤 真由美	11月15日(金) 2時限	子育て支援	阪野 学	授業課題シートについての注意事項が丁寧に説明され、次にパワーポイントと教科書が併用され授業が始まった。学生は大変静かに集中していた。事例について教科書を使って学ぶ際には、学生がマイクを使って順に読み上げていった。他の学生もマーカーを引く、課題シートに書き込むなど、しっかりと対応していた。教員が逐一解説を入れ理解の深度に貢献していた。課題シートは添削後に返却され、学生は再提出をするという仕組みである。1回限りでは消化できない内容を何度かの課題シートのやり取りによって理解していくという丁寧な指導が素晴らしいと感じた。1点、チャイムが鳴り終わると同時に点呼が課題提出確認で遅くなっていたのが気になった。
	合田 誠	11月12日(火) 1時限	乳児保育Ⅱ	福鹿 慶子	2グループの「模擬保育」を参観させてもらう。各グループで指導案を作成し、保育者、記録、司会者、保育補助等の役割を決め、他のグループからその模擬保育に参加する園児役を数名出てもらい、模擬保育を展開した。1年生で9月に保育所実習を終了したばかりの学生が、実施した保育のねらいに基づき、指導案に沿って進めるプロセスを垣間見て予想以上の出来に驚いた。また、園児役のメンバーも幼児になりきり、保育者役の学生に対処を促す演技をしていたのにも感心させられた。模擬保育が終了し、福鹿先生からの課題や反省点の解説が入り、受講学生も大変役立つ授業になったと思われた。
	鍛冶谷 静	11月14日(木) 4時限	子どもの食と栄養	中川 玲子	保育士必修科目であり、本学では「こども食物アレルギー実務課程修了証」の取得も可能な科目である。養成校では数少ない、充実した設備を備えた調理室での調理実習を翌週に控えた授業を参観させていただいた。乳児の咀嚼、嚥下機能の発達に応じた月齢ごとの離乳食について、プリントの穴埋めで知識を整理する、教科書でも確認をおこなうといった丁寧に分かりやすい指導だった。乳児の舌や唇の動きが月齢で変化していく様子について動画や写真などがあればさらに理解が深まるのではと思った。教室がやや狭く椅子の硬さが気になった。2時間続きの授業でもあり、学生の集中力維持のためにも授業環境への配慮も必要かと思われた。
	香月 欣浩	6月12日(火) 1限目	乳児保育Ⅱ	福鹿 慶子	乳児保育における設定保育の授業であった。保育者を演じる学生、2歳児を演じる学生、それを観察する学生に分かれ、30分間考えてきた保育を行なう。途中でわがママを言う子どもや予想外の事態が起きたりさせ、保育のリアルを全員で感じていた。この設定保育を通して保育者の在り方、子どもの発達、環境設定、ねらいの明確化など、学生の考えるべきことは多いが、他教科とも連携していく事の必要性を強く感じた。
	金川 朋子	11月12日(火) 1時限	教育実習指導Ⅰ	松下 明日香	静かに落ち着いた雰囲気、学びの環境の中で、授業が進行されていました。振り返り小テスト約10分、自己採点。繰り返し学習を復習することで、学びが定着できる活動として、良い取り組みだと感じました。授業は、継続発展的な取り組みで、指導案作成にむけて、段階的に指導されていることがわかりました。個人ワークからグループワークへと発展させていく流れで進められていました。グループワークでは、メンバーの発表に1つアイデアを追加させるというルールを設定することで、対話が生まれ、アイデアが拡がっていました。
	阪野 学	11月11日(月) 2時限	保育実習施設Ⅰ (施設)	合田 誠	実習前の最後の授業と云う事で実習事前アンケート及び事後アンケート等重要な諸連絡があり緊張感のある内容であった。またその後は、実習前に再確認に意味で実習の確認事項や実習内容の留意点についてのテストであった。テスト内容は、実習に学生の参加する施設は多岐にわたっているが、これまで学んできた内容の確認及び共通する事柄についての留意事項等であった。これから実習に参加するという緊張感のある授業であり学生たちも真剣に取り組んでいる様子が窺えた。感じたことは、施設実習に関連する科目の担当教員との連携が必要であると改めて認識させられた次第である。
	千田 耕太郎	11月14日(木) 4時限	子ども家庭福祉	阪野 学	有難うございました。 日本の児童養育環境や家庭の福祉についての現状、問題点など、わかりやすい説明だった。学生には、しっかりと聞いて教科書を見ながらまとめるプリントも配布され、頭を使って参加させる授業内容であり、とても参考になった。
	森 麻希子	11月14日(木) 2時限	子ども家庭福祉	阪野 学	毎回の課題シート提出では添削と再提出の指導が丁寧になされており、学生の成長を願って取り組まれていることがよく分かる内容だった。用語の意味を適宜復習しながら、今学んでいる知識が12月の施設実習と結びつくように分かりやすく解説が行われており、とても勉強になった。
	阪江 豪	11月11日(月) 3時限	保育実習指導Ⅱ	松下 明日香	学生がペアで模擬保育をした後、子ども役の感想をもとに振り返りカンファレンスを一連の流れとして実施していた。実習や現場に出てからの具体的な流れをイメージする良い内容だと感じた。
	松下 明日香	11月13日(水)	教育実習指導Ⅰ	阪江 豪	様々な素材を扱いながら教材研究を行っていた。教材研究は保育実践において大変重要であるため、実際に体験しながら学ぶことで、教材研究とは何をどうすれば良いのか、またその意義について理解が深まり、学生自身の実践に繋がる学びだと感じた。参観を通して他の授業での学生の学びについてよく把握ができたので、保育実習担当者として実習間の連携強化にも活かしていきたい。
	小川 健二郎	11月14日(木) 1限目	子ども家庭支援の心理学 (1・2・3組)	鍛冶屋 静	貴重な経験となりました。自身の授業の中間アンケート時に他の教員で素敵なパワーポイント等をされてる先生の名前を記入してほしいことを学生に依頼したところ、鍛冶屋先生の名前が複数名あがってきたので、この機会に是非と思い参加させていただきました。パワボが見やすく、教科書に線を引くこと、ゆつくりと丁寧にお話されているところが学びたい学生に評価されているんだと感じました。私は、どっかかという研修講師的要素が強く、鍛冶屋先生は大学の先生の授業という感じがしました。TTP(徹底的にパクリ)形で、自身の授業に取り入れていきたいと思います。ありがとうございました。

公開授業報告書 ライフデザイン総合学科

	参観記録記入者名	参観実施日	参観授業科目名	授業担当者名	授業を参観してのご感想、ご意見等
ライフデザイン総合学科	中川 玲子	11月13日(水) 2時限	キャリアプランニング	河合 真知 伴 裕果	授業は、小テストで始まり、求人票に関する講義のあと、グループでの情報交換、面接練習と展開された。授業の展開に変化とメリハリがあり、学生が集中して学んでいた。テストやグループディスカッションではやや緊張が感じられたが、ロールプレイングでは、全員が積極的に、また、生き生きと参加してた。就活準備として重要なことが学べ、演習できる必修授業というように、学生の授業に対する理解と意識が高いと感じた。求人票に関する講義の中でHP上示される企業を評価するマークが多く説明されたが、一覧表のような資料があれば、学んだことを今後の就活により活用できるのではないかと感じた。
	伊東 めぐみ	11月13日(火) 2時限	キャリアプランニング	河合 真知 伴 裕果	学生の就職活動に向けて有用と考えられる内容ばかりと感じました。学生も興味をもっている様子がうかがえました。また、後半は面接練習で能動的な内容でしたが、学生は就活に向けて必要な内容であることを理解して積極的に取り組んでいました。面接練習の方法として、小グループに分かれてグループ面接を行っており、面接を始める前に今日の面接練習で特に気をつけたいことを1人ずつ確認していて、学生が取り組みやすく、成果が見えやすい方法だと感じました。自身の授業の参考にさせていただきたいと思いました。
	安谷 元伸	11月15日(金) 3時限	ビジネス総合演習	河合 真知	資格支援の側面を持つ授業で、資格試験も近いということがあり学生たちはみな緊張感をもって授業に臨んでいた。説明と演習の授業における実践的な内容解説と板書の方法は、今後の授業の参考となった。演習の模擬問題への取組等、学生たちが真剣に取り組める環境が授業内で構築されており、その点においても担当授業でも取り入れていきたい。また、改めて学生たちに一般知識の重要性の理解を促す流れが印象的であった。
	河合 真知	11月15日(金) 2時限	情報倫理	安谷 元伸	完璧なアクティブラーニング型の授業であった。聞くだけでなく、書く、発表する、考える、まとめる、全てが織り込まれていた。結果、学生は単元内容を深く考え、自分事として学びを得ていたと感じる。1時限毎に書き込み式まとめプリントを配布されていた。身近な話題に関連付けて説明がなされていた。また、受講者が発言しやすい雰囲気もあり、全員が発言をして終了していた。PC関連授業のため、Google classroomの使用が認められており、最後、自分の考えを入力し提出させ、早くに提出されたコメントについて共有する等、アクティブラーニングとしてしっかり活用されていた。他の授業でも制限を解き、利用を開始されたいと強く思った。
	久保 覚司	11月12日(火) 2限目	ウェブデザイン演習1	安谷 元伸	終始、落ち着いた状態で進行していたので良かった。教員だけではなく、学生同士で教え合う体制もきちんと整っていた。今後の講義の参考にさせていただきたいです。
	中川 明仁	11月13日(水) 3時限	社会心理学	田端 拓哉	授業の合間に数題の小レポート課題を設け、学生の集中力を持続させる工夫が感じられた。自分の担当授業では授業の最後に課題を設けることが多いので、序盤や中盤でも課題を組み込んで、積極的に学生が授業に参加できる機会を多く作っていききたい。また、授業内で出てくる専門用語を学生にとつての身近な例を出して説明されていて、学生の視点に立った授業の進行を心掛けられていると感じた。3時限目という学生にとっては一番眠たくなる時間帯の授業であったが、居眠りやスマホを操作する等もほとんどなく、熱心に教員の説明に耳を傾けている学生の様子が見られた。